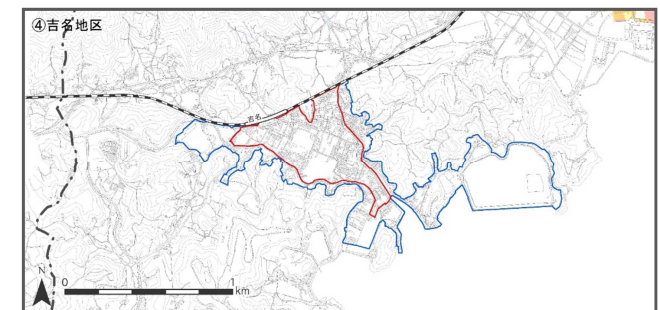
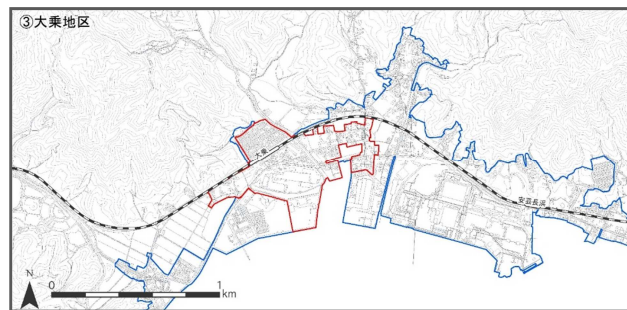
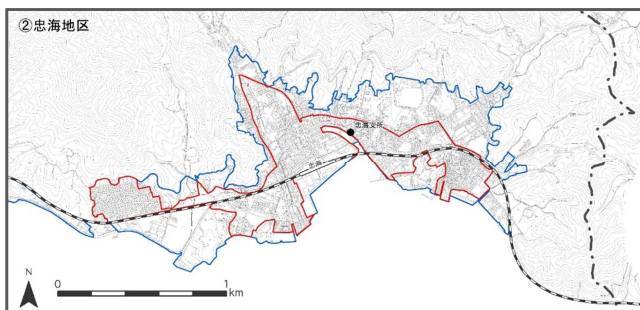
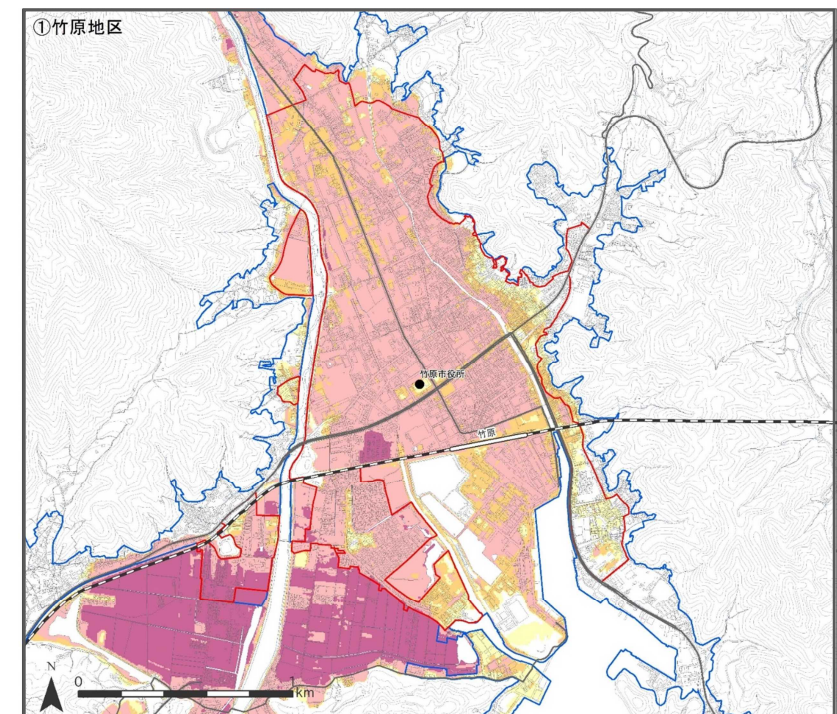
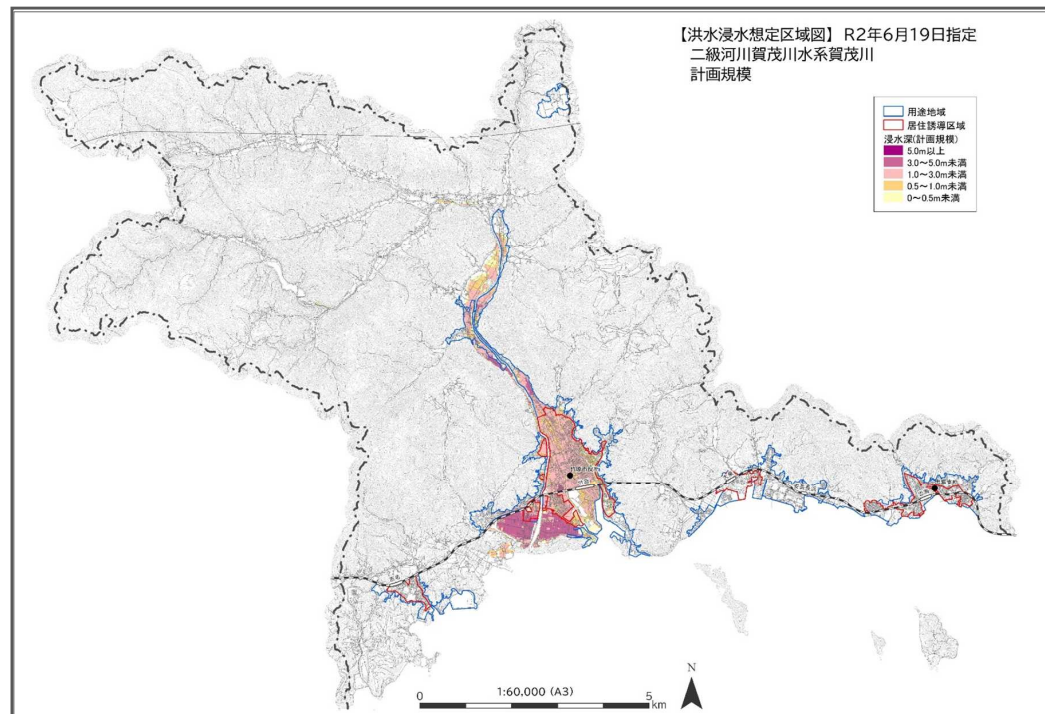
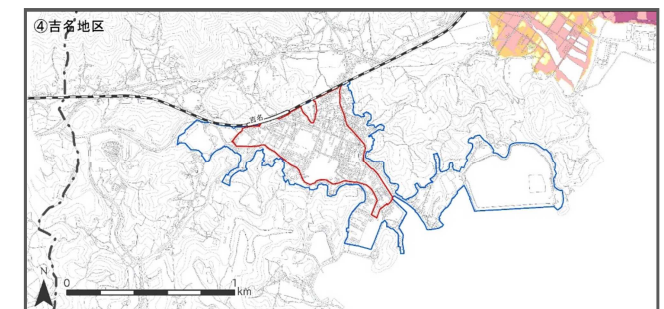
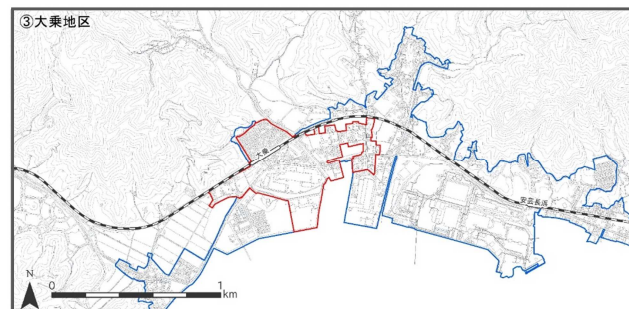
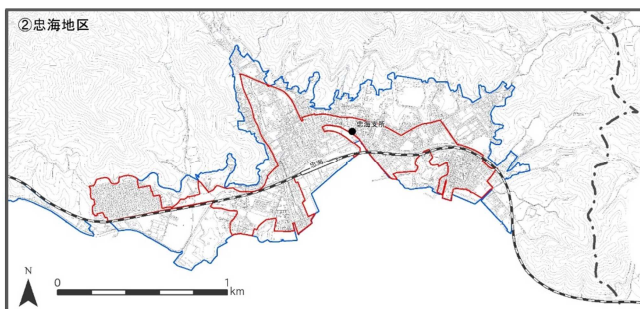
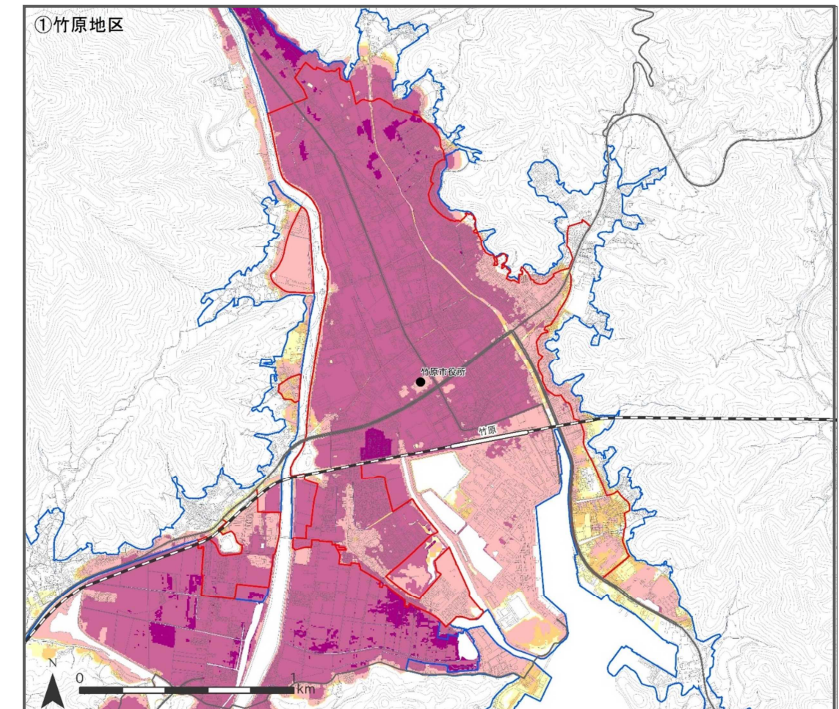
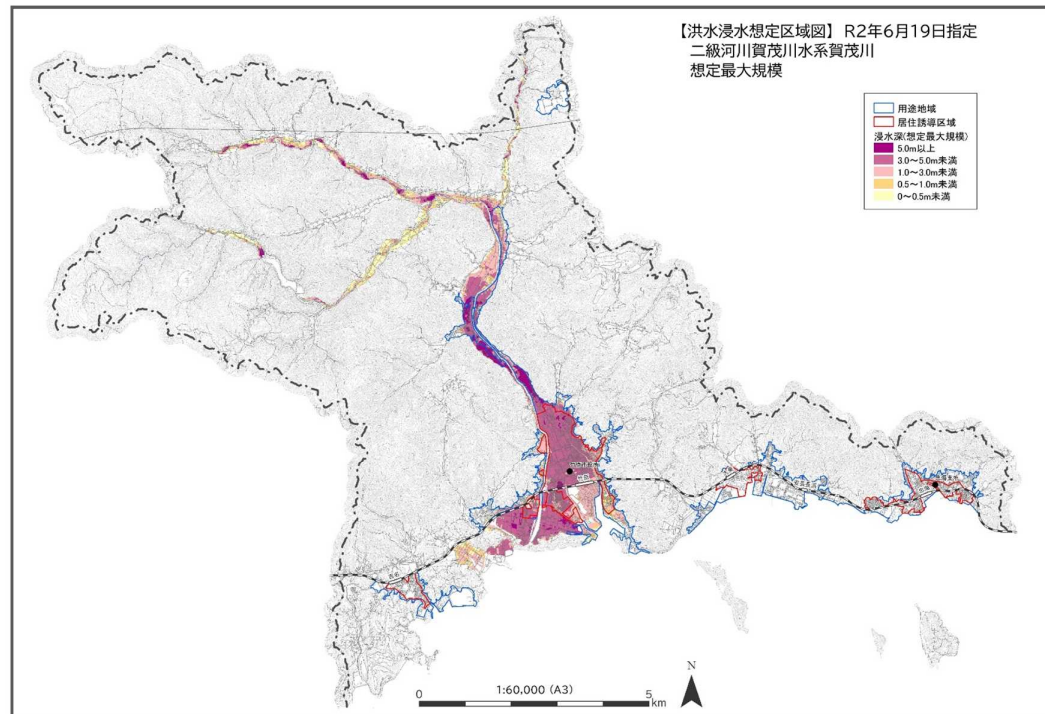


參考資料

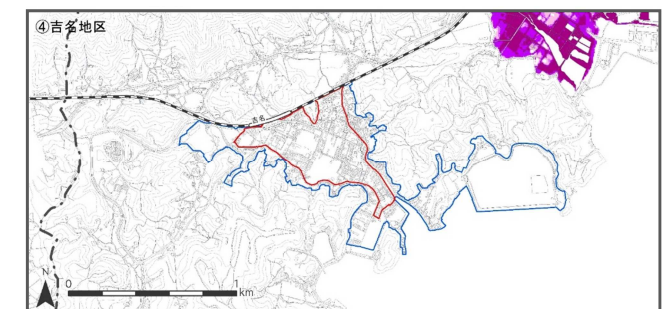
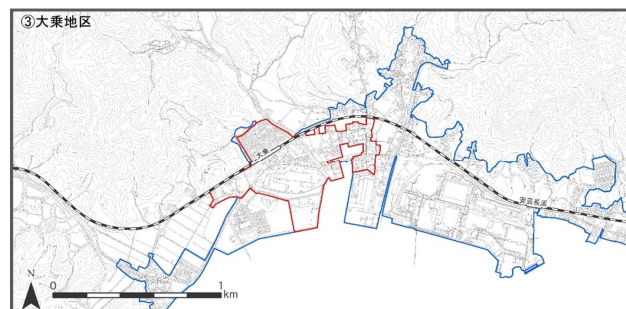
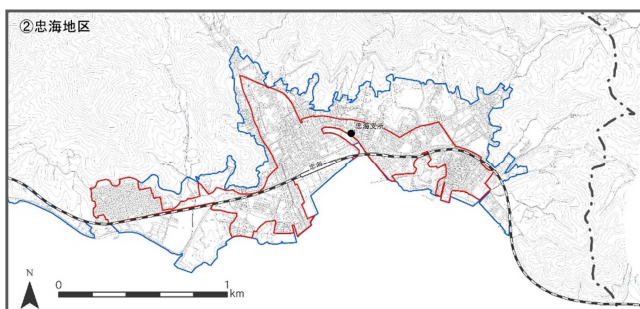
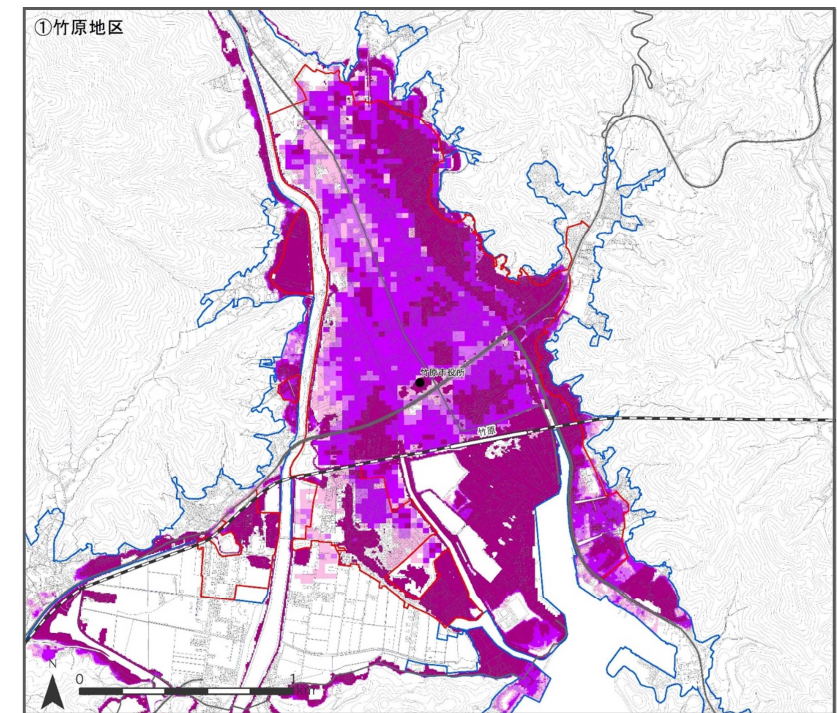
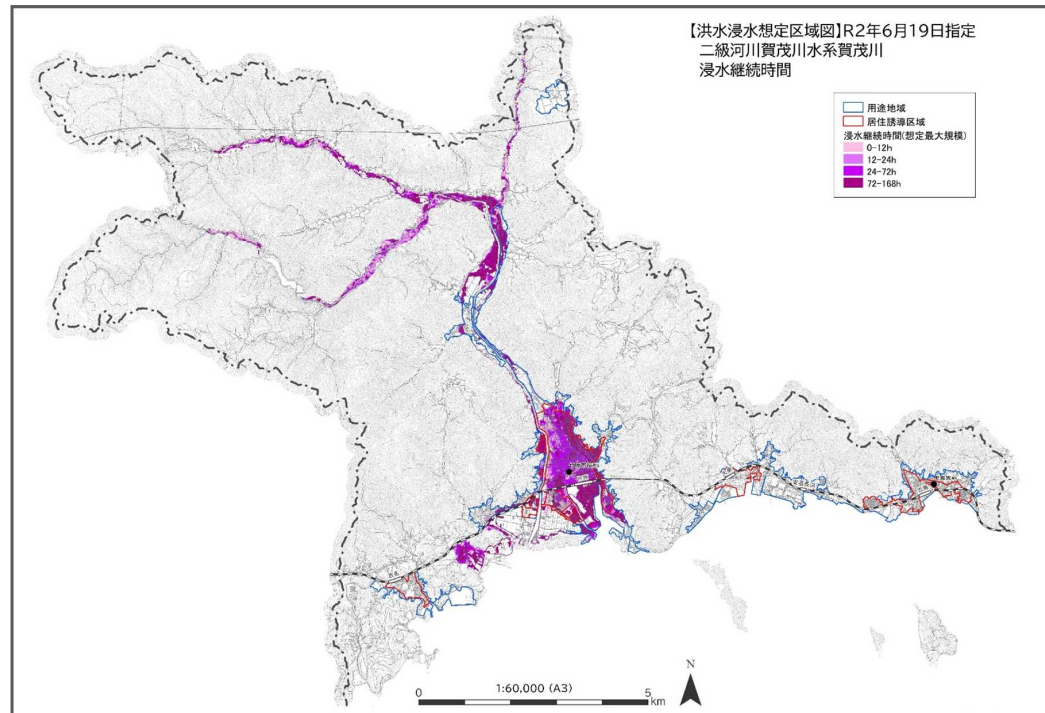
■洪水浸水想定区域【賀茂川水系 計画規模（100年に1回程度）】



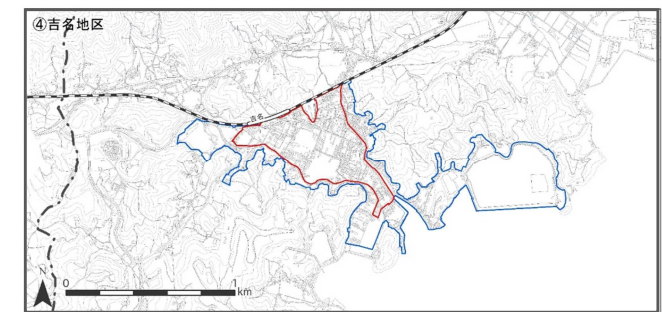
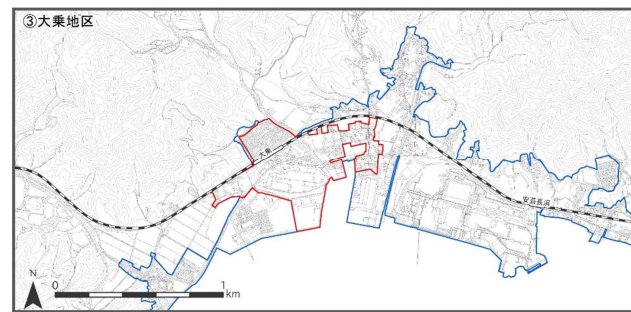
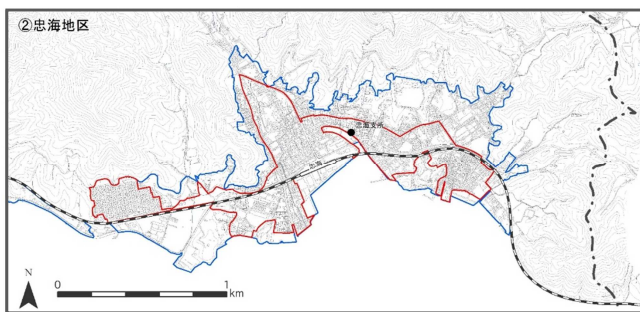
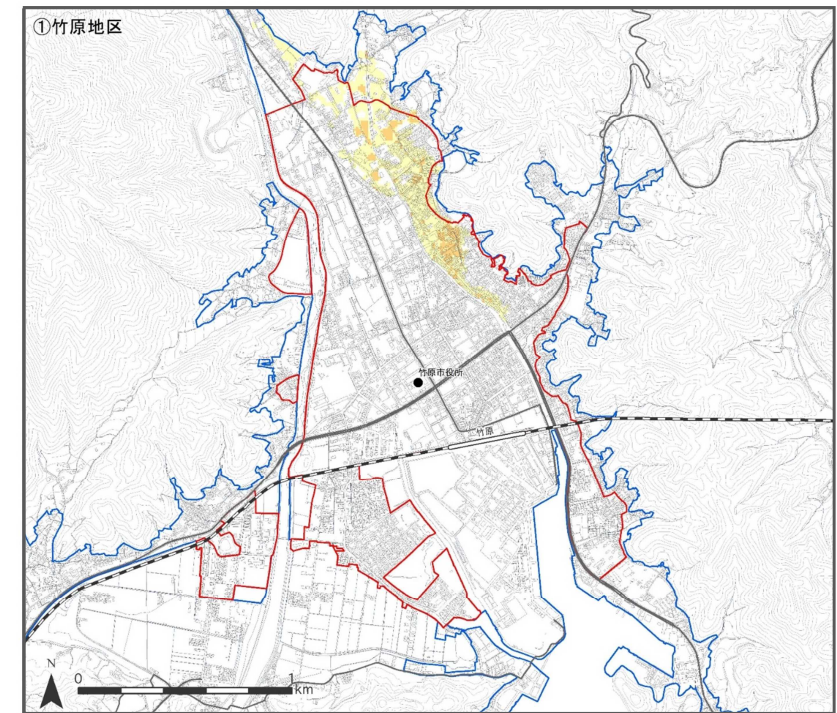
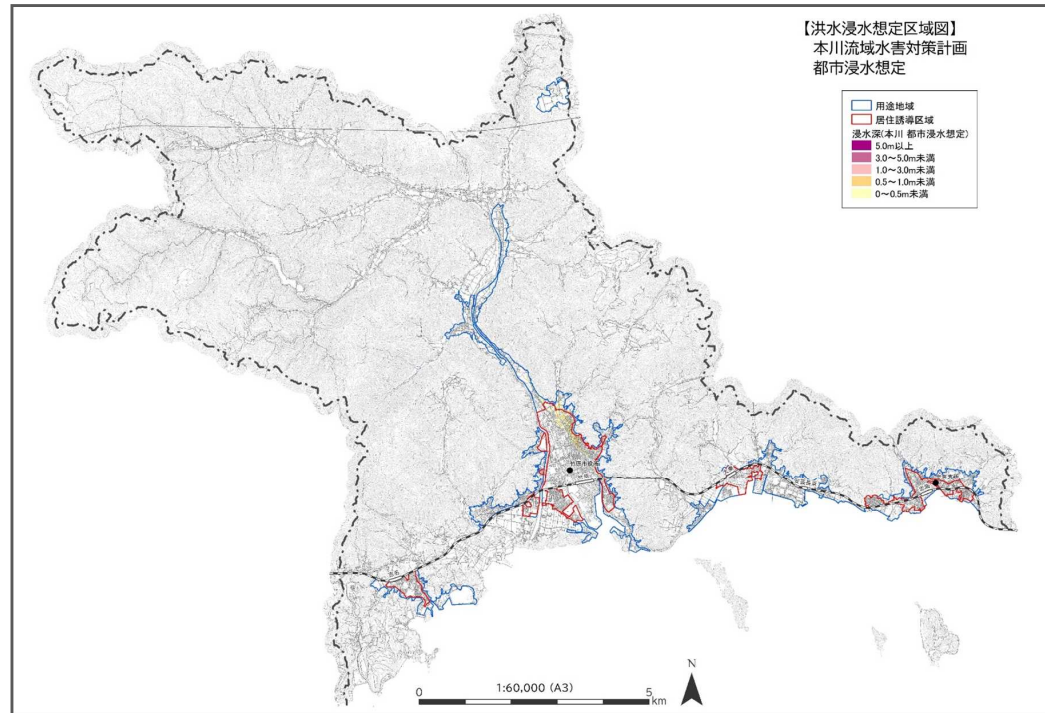
■洪水浸水想定区域【賀茂川水系 想定最大規模（1000年に1回程度）】



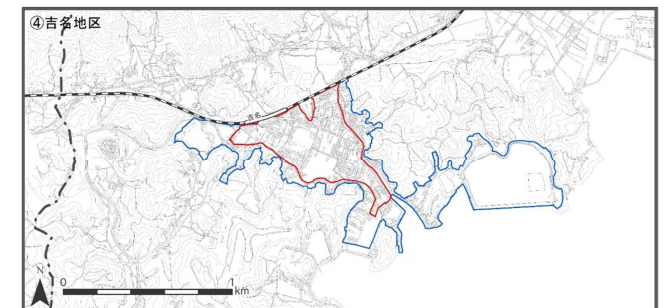
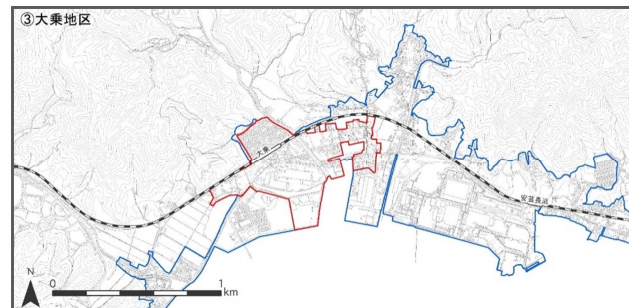
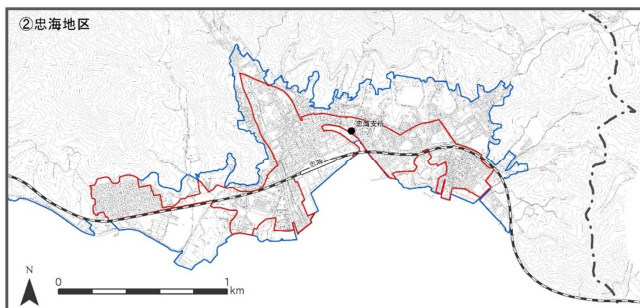
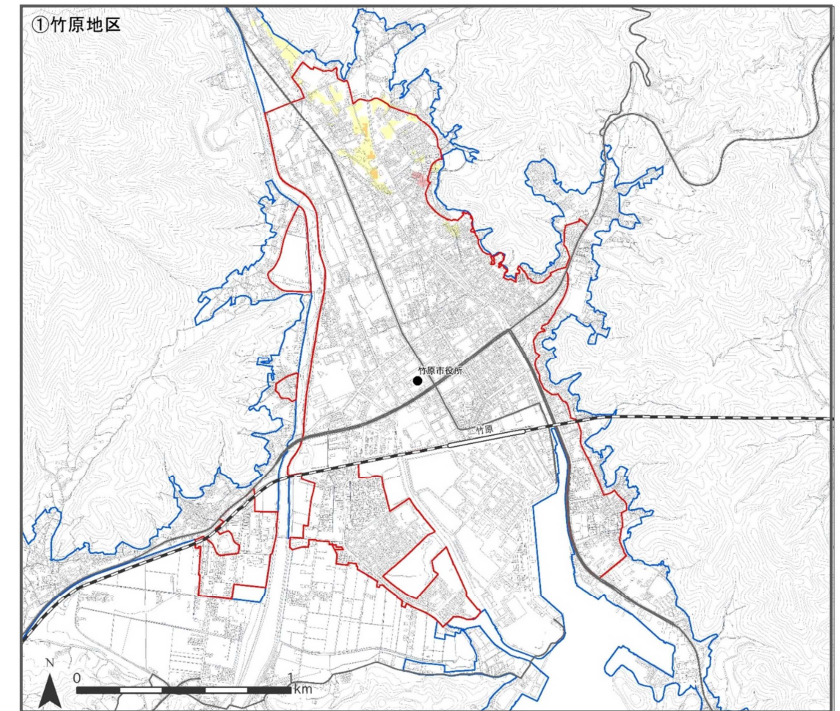
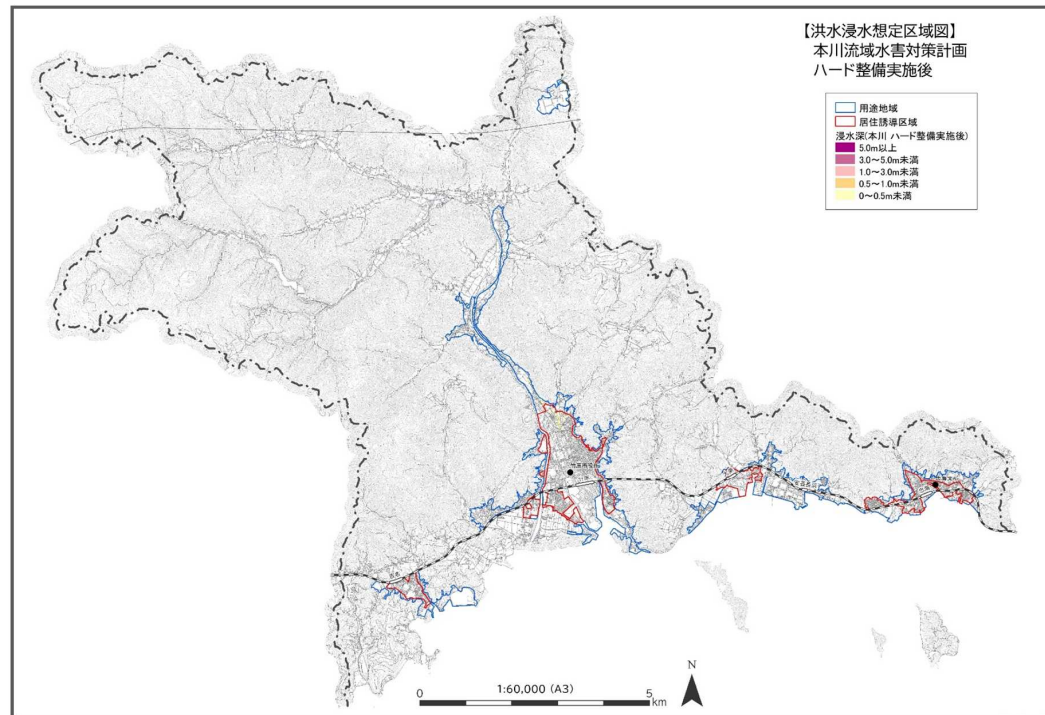
■洪水浸水想定区域【賀茂川水系 浸水継続時間（浸水深が0.5m以上継続する時間）】



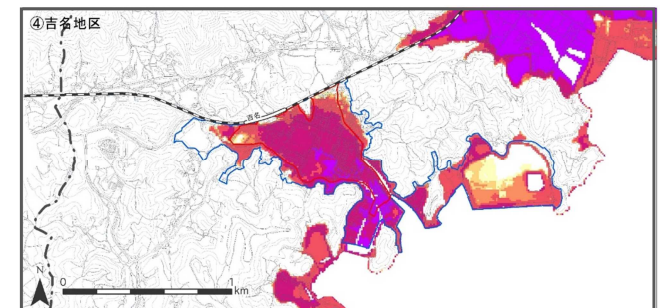
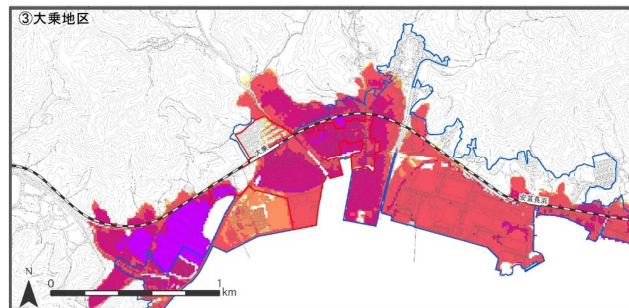
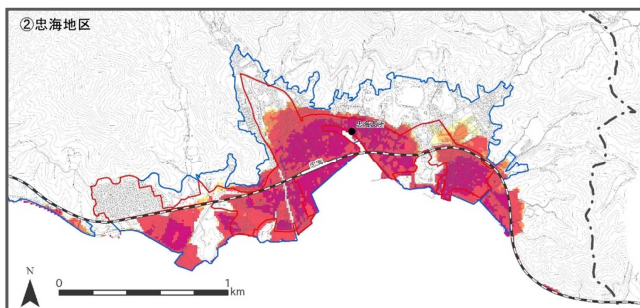
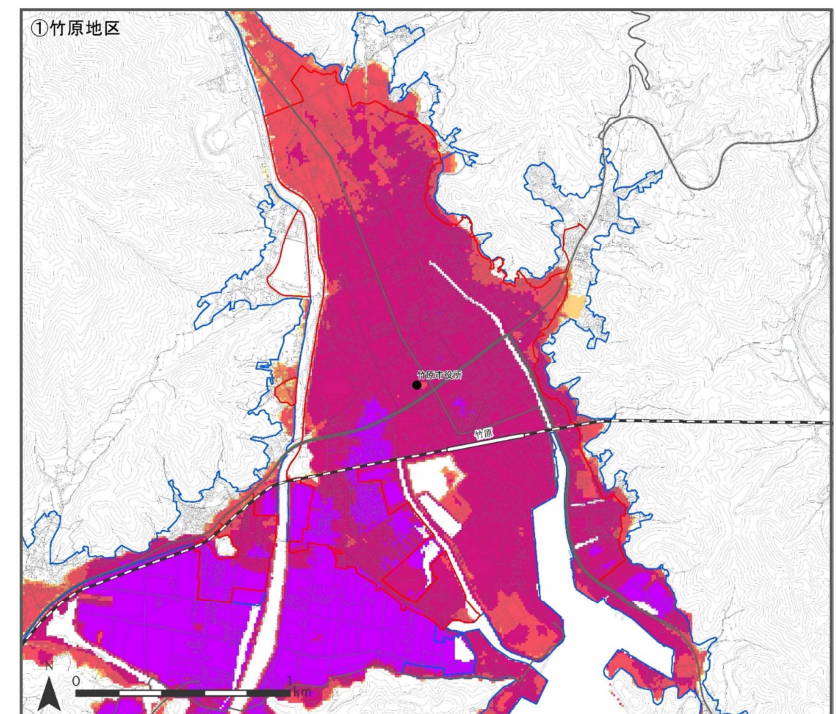
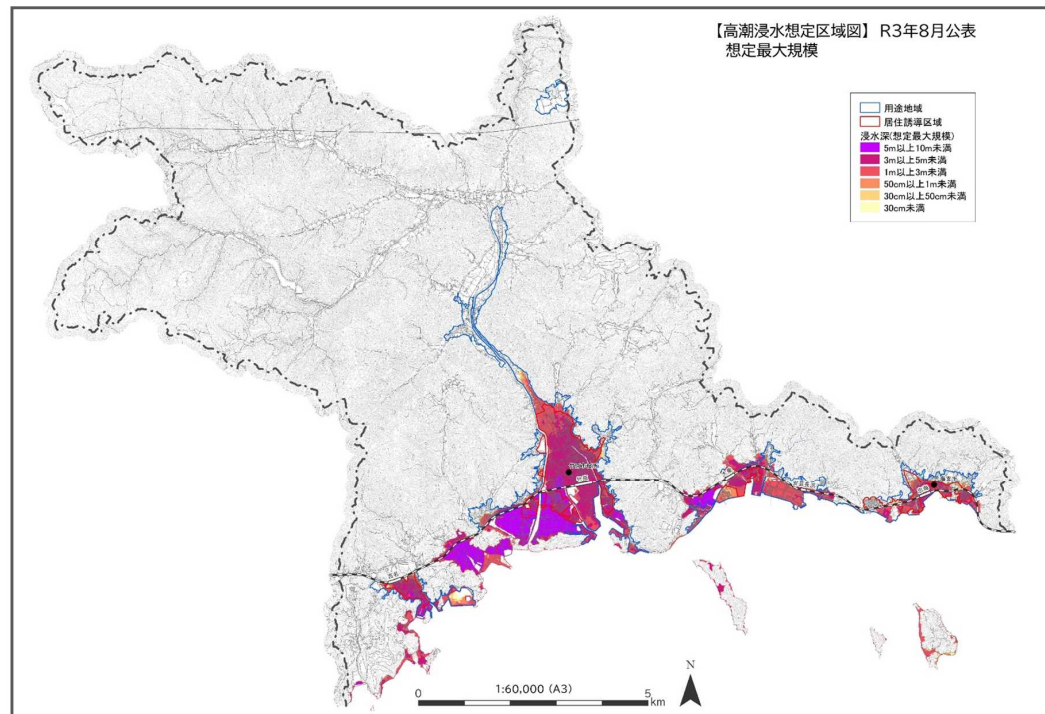
■洪水浸水想定区域【本川流域水害対策計画 都市水浸想定】



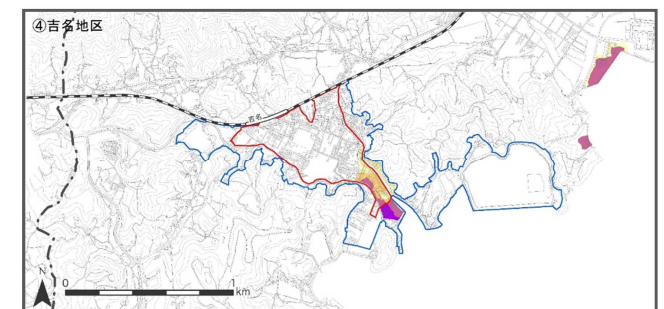
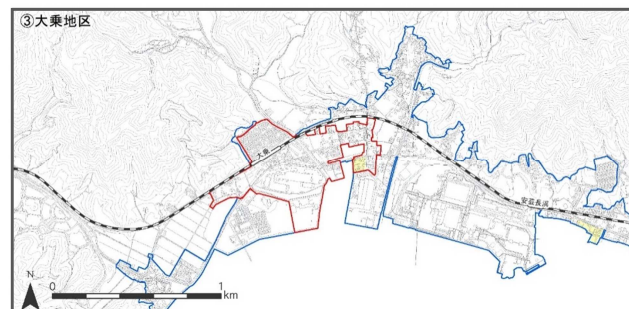
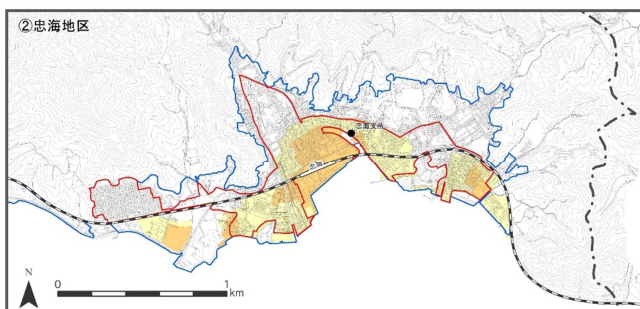
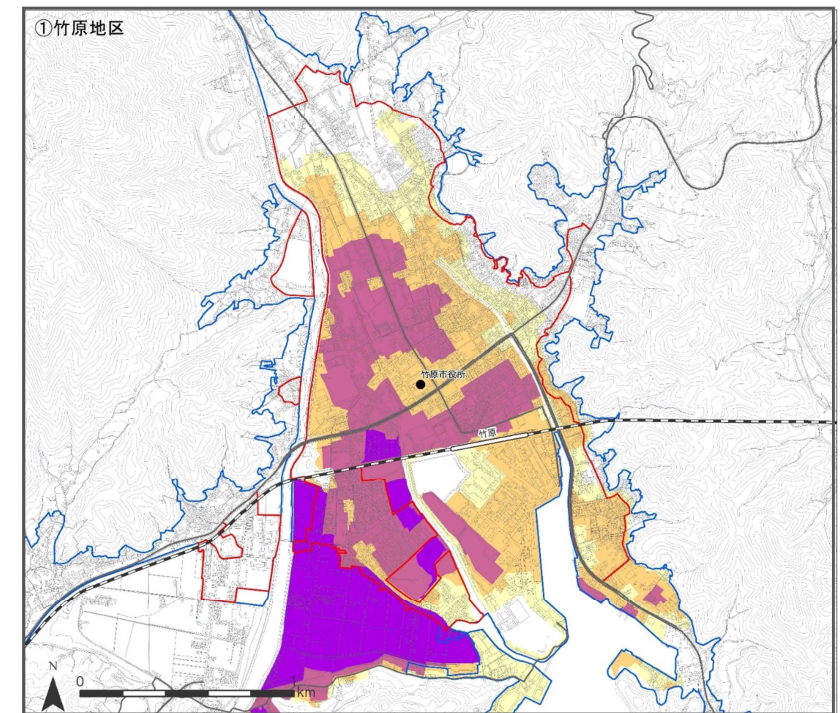
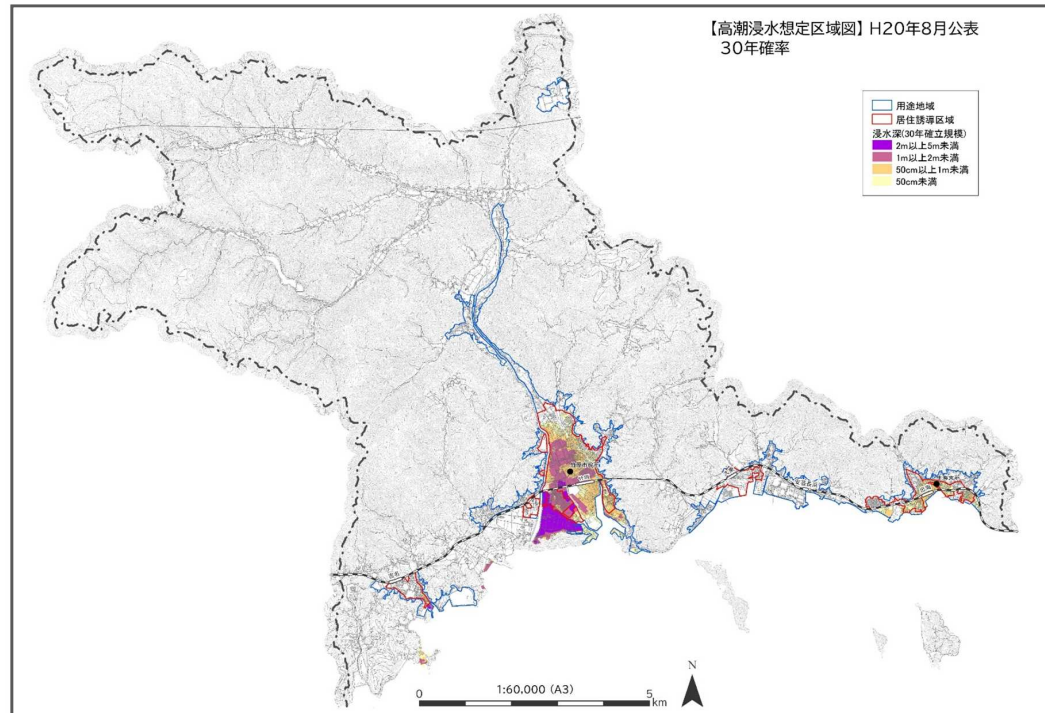
■洪水浸水想定区域【本川流域水害対策計画 ハード整備実施後】



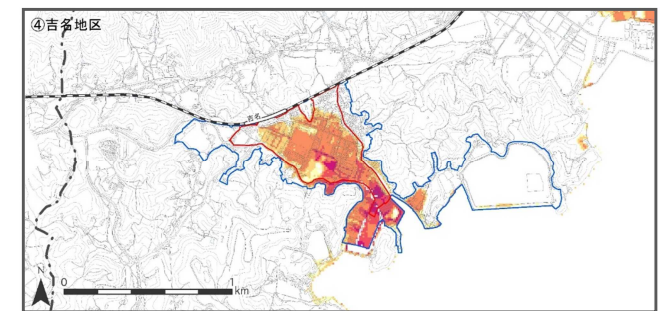
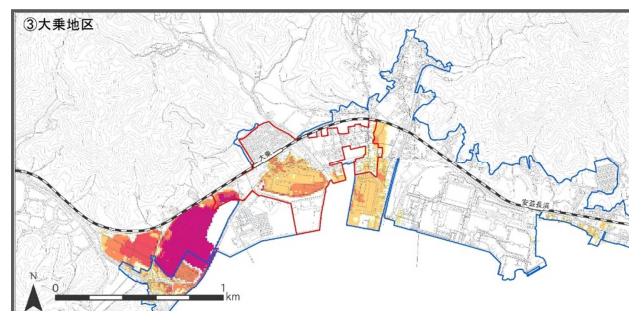
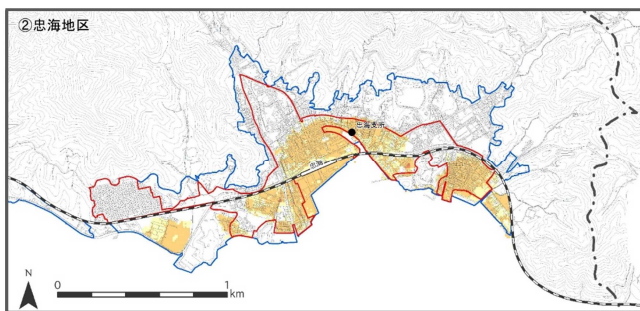
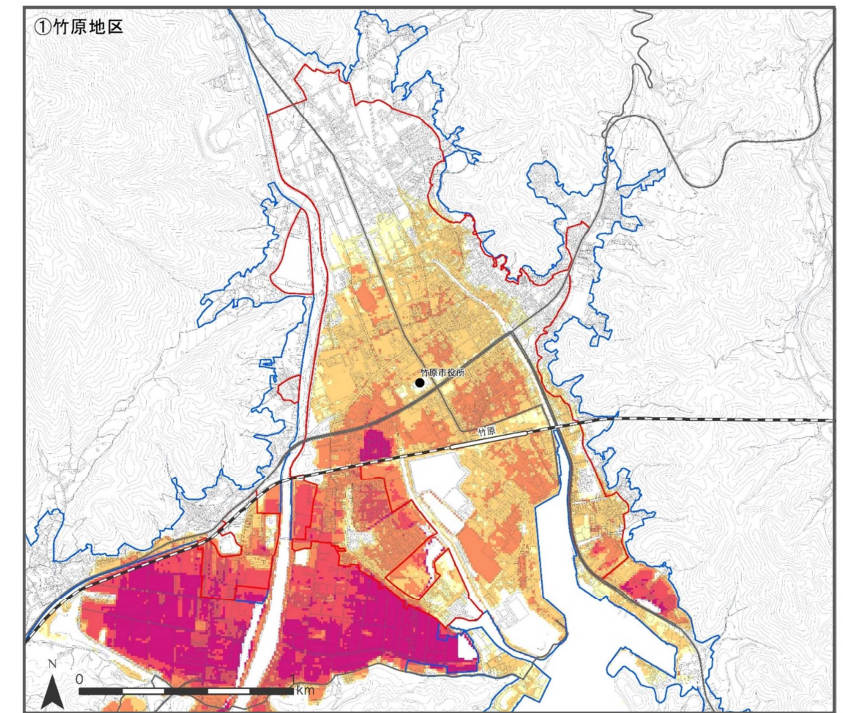
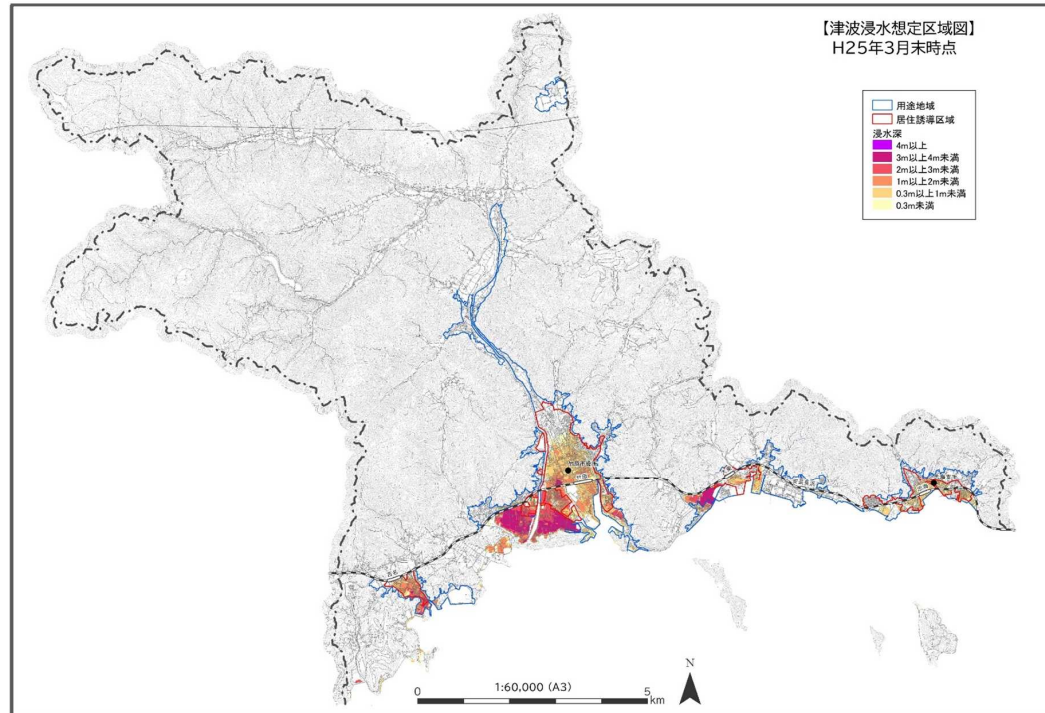
■高潮浸水想定区域【想定最大規模】



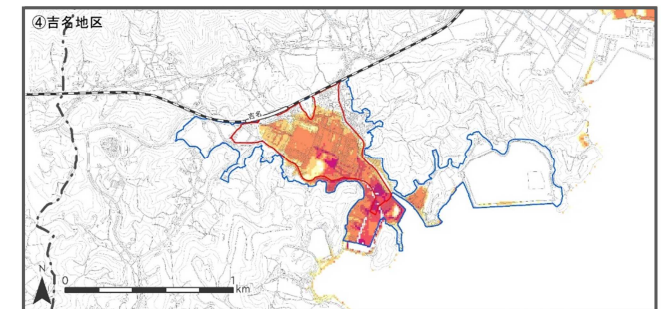
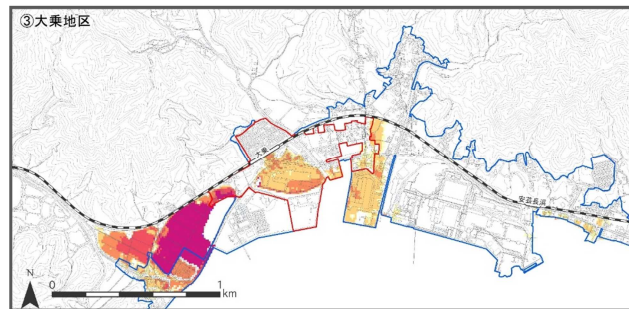
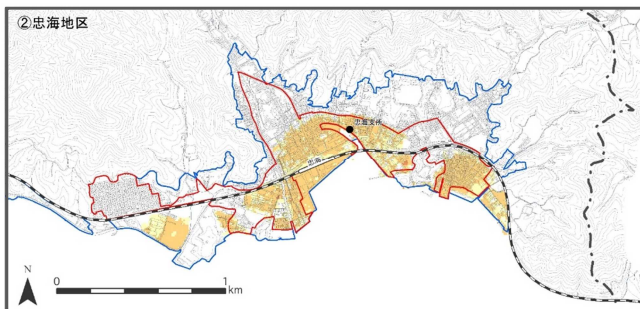
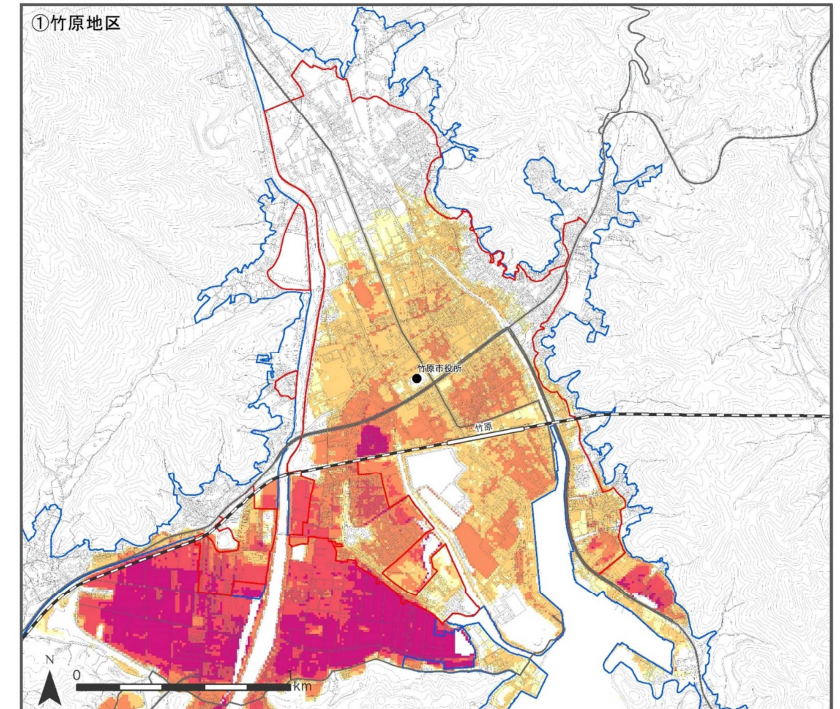
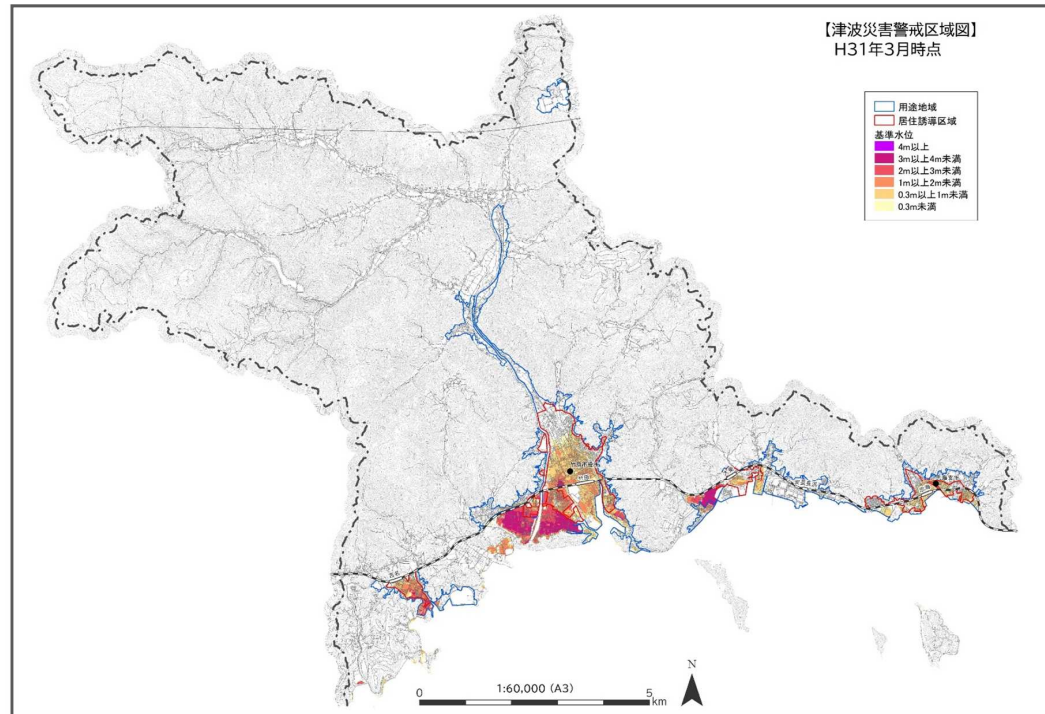
■高潮浸水想定区域【30年確率】



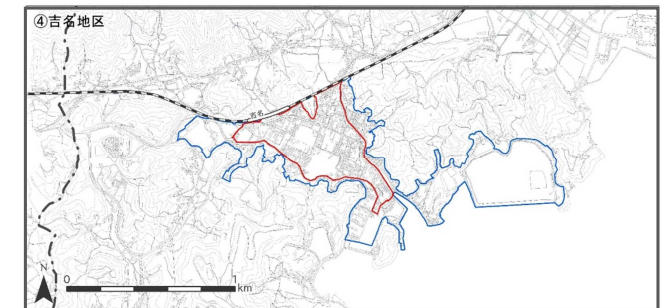
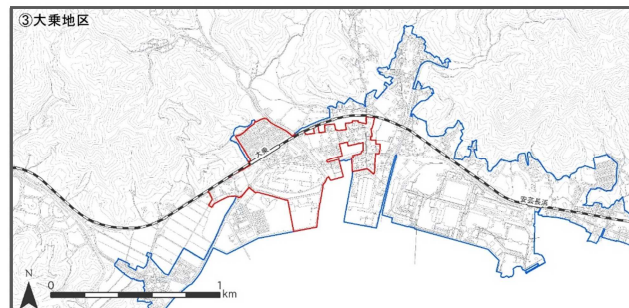
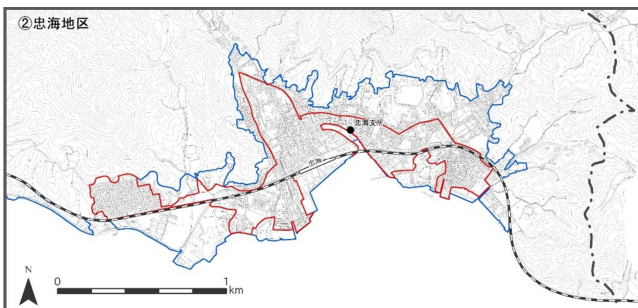
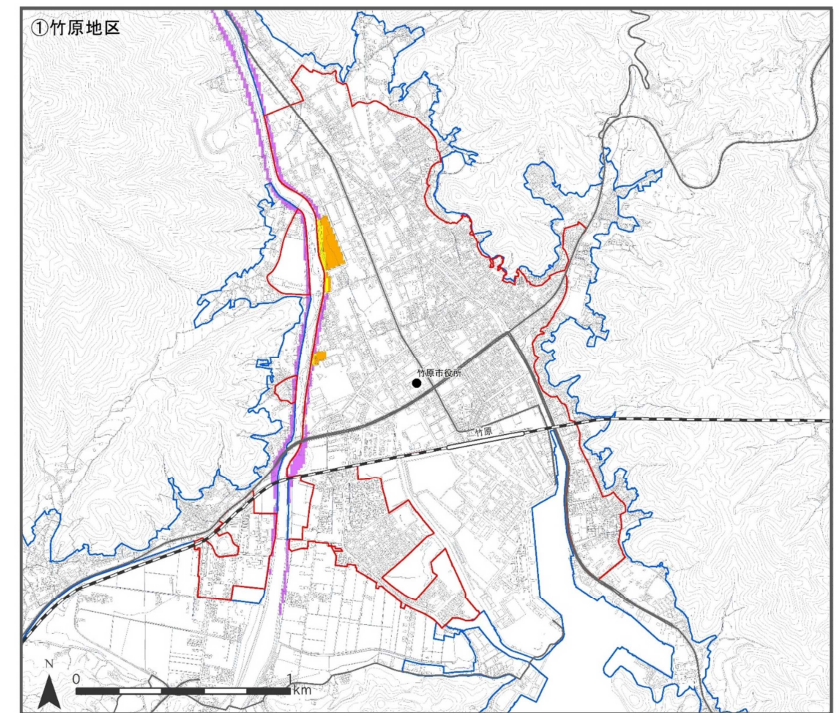
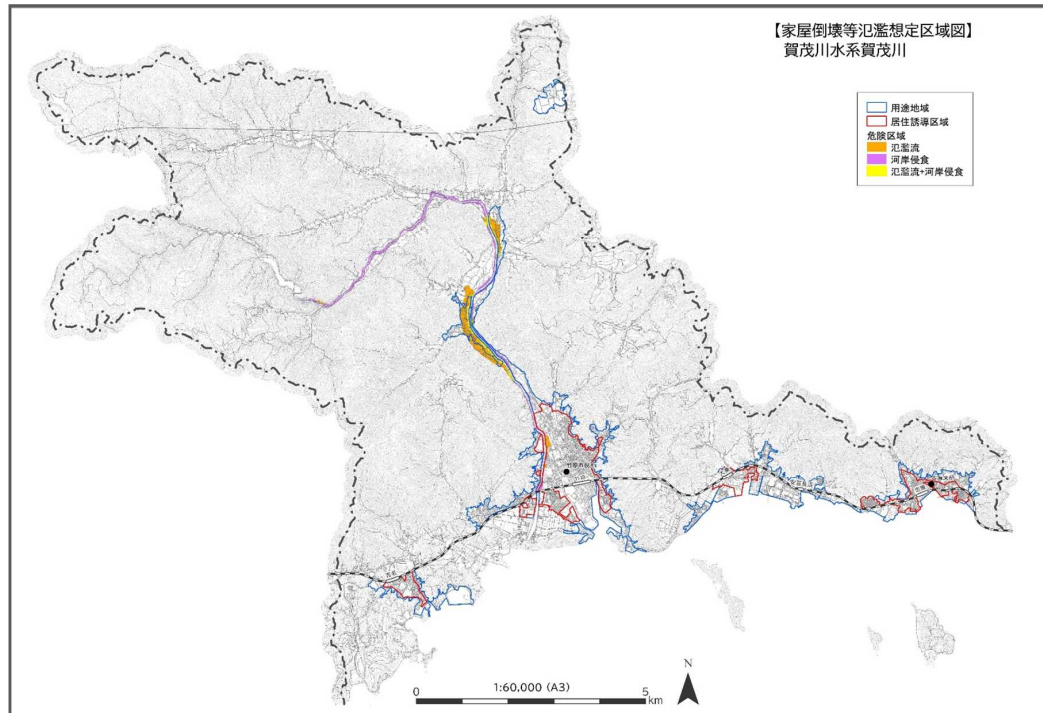
■津波浸水想定区域



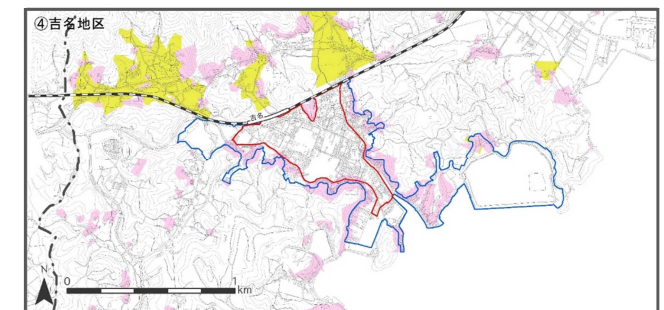
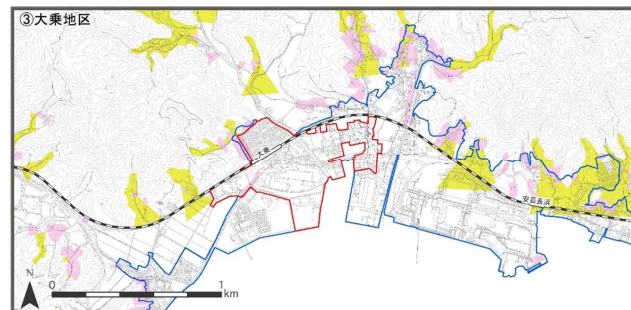
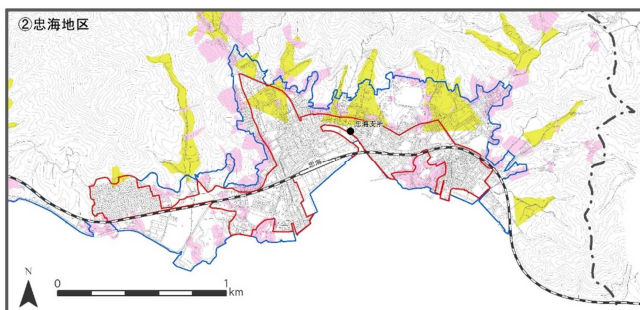
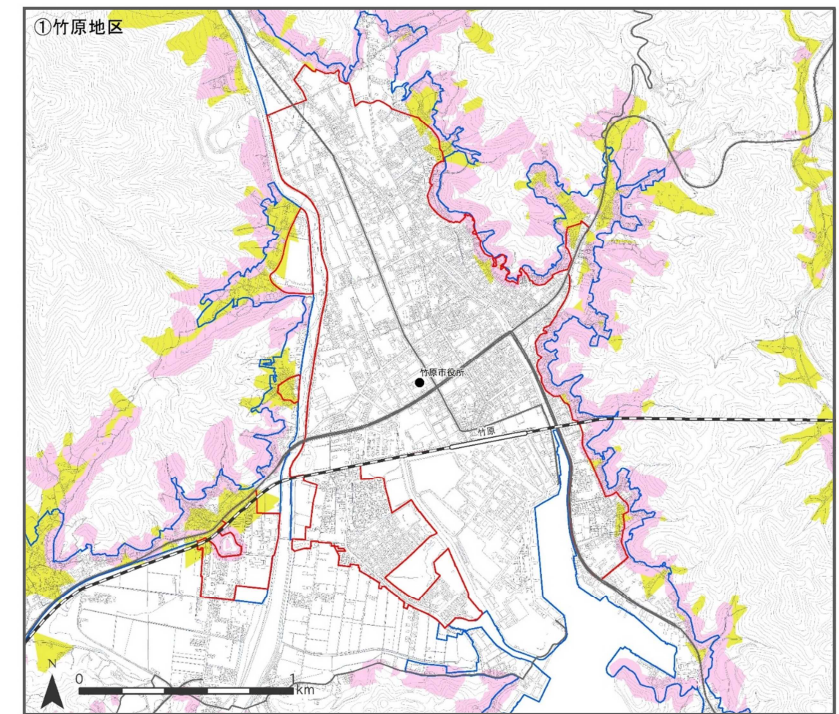
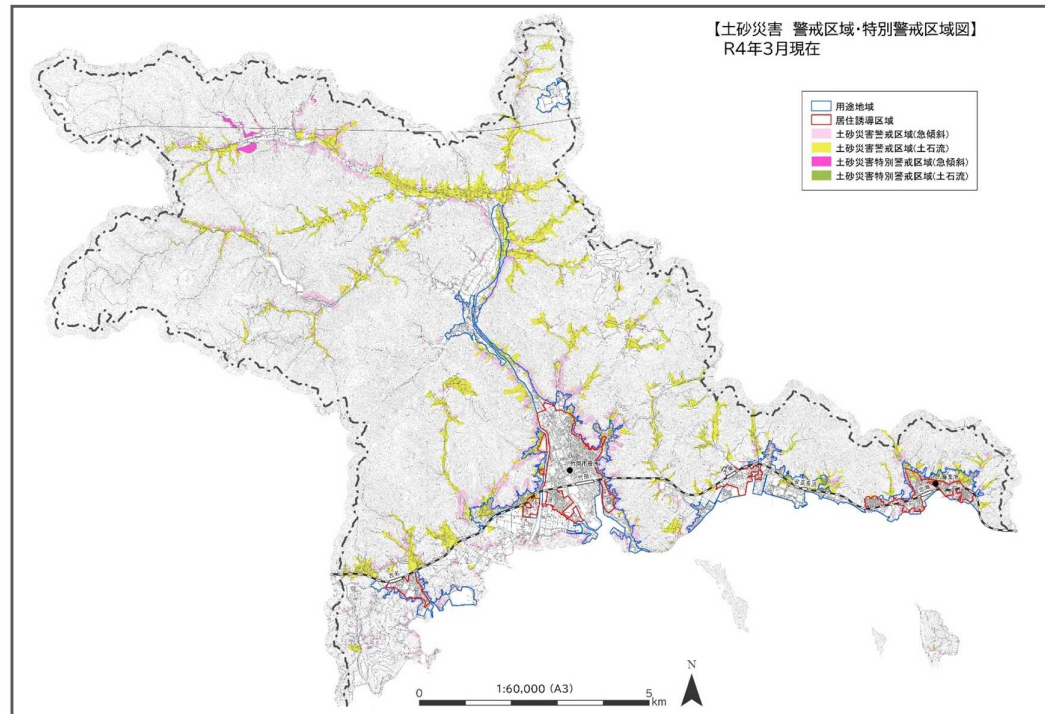
■津波災害警戒区域



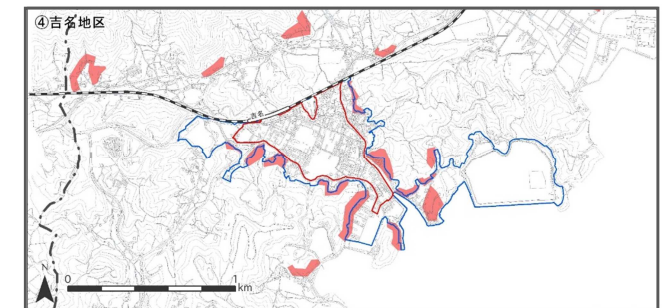
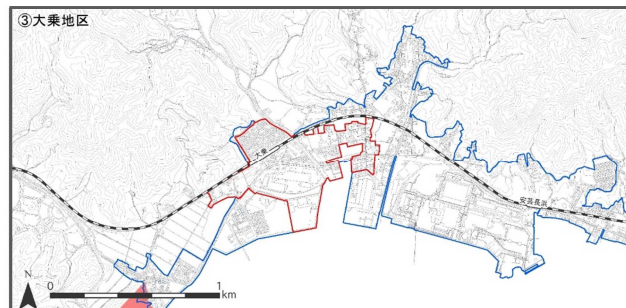
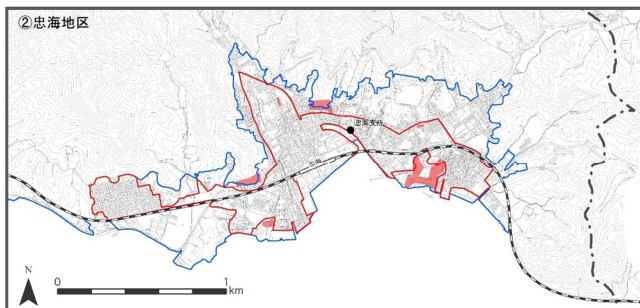
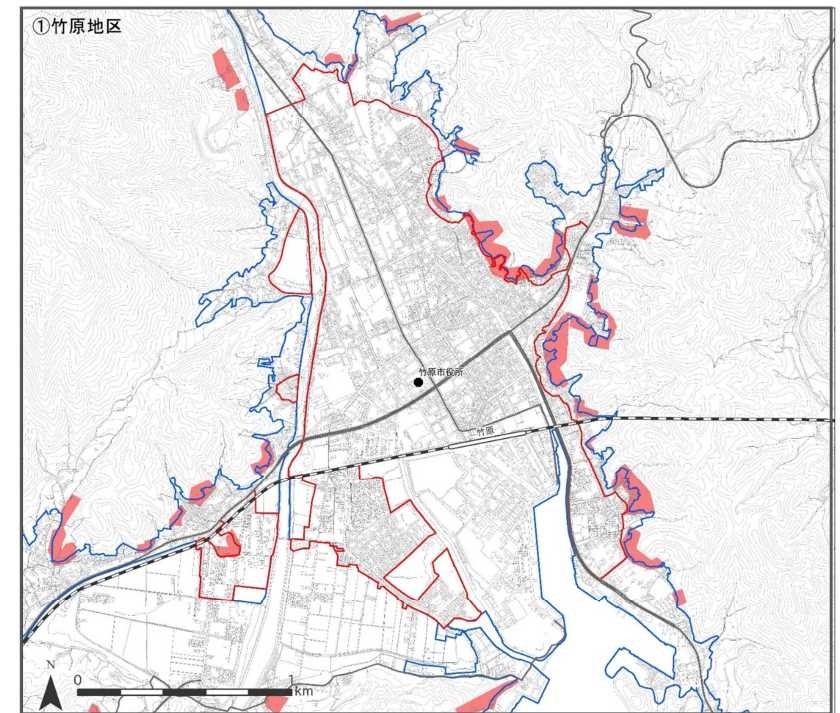
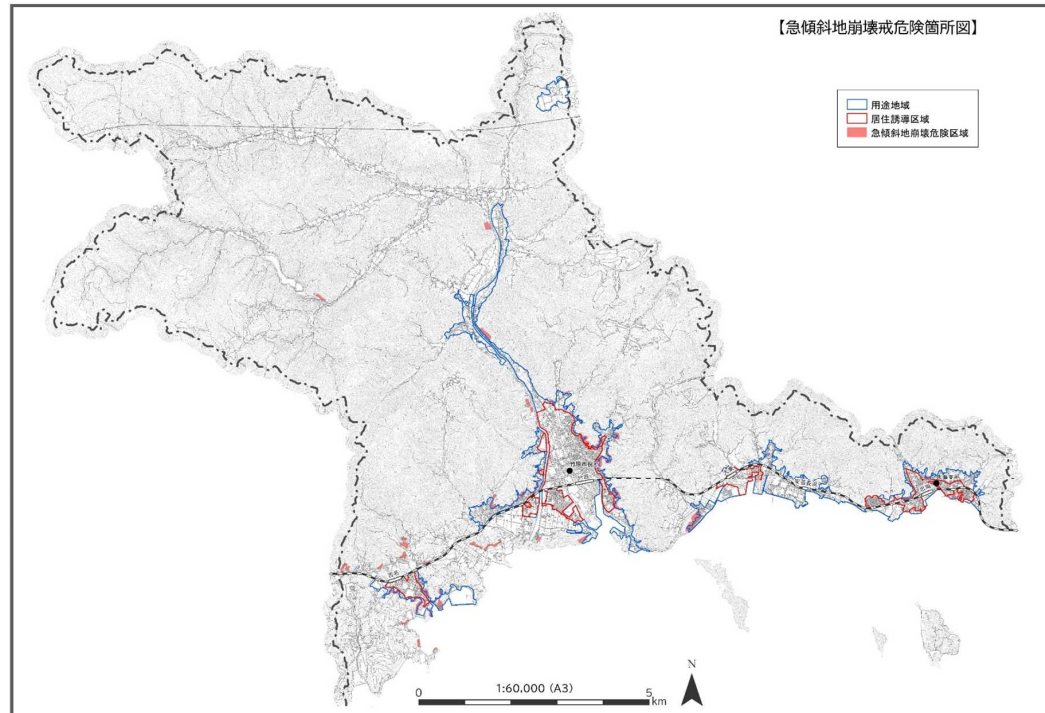
■家屋倒壊等氾濫想定区域



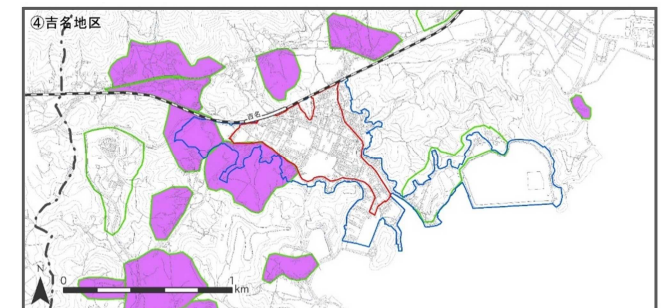
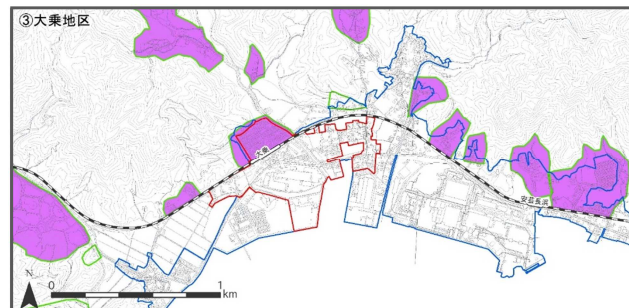
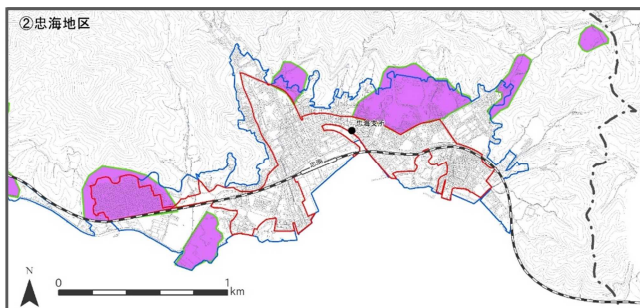
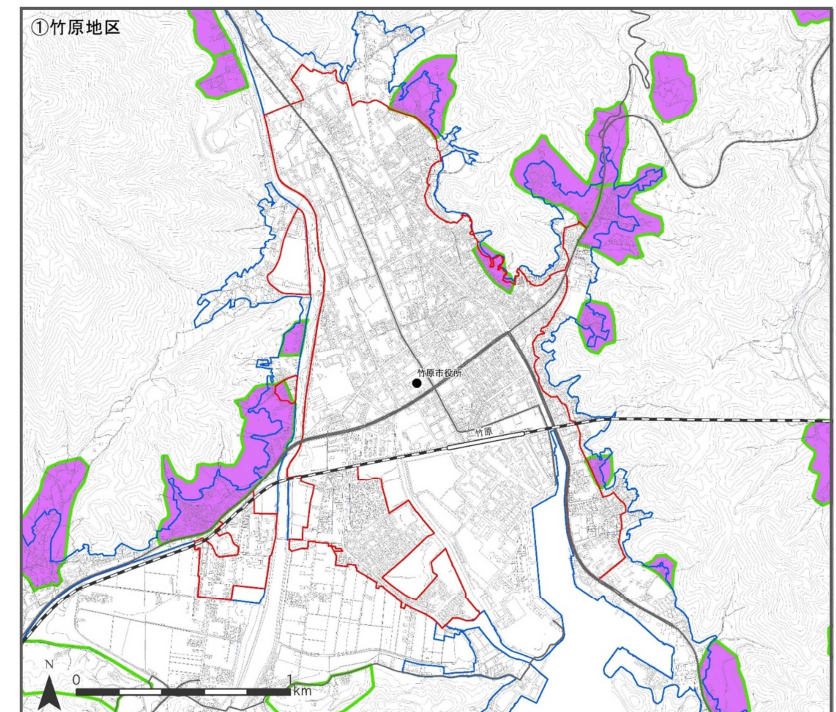
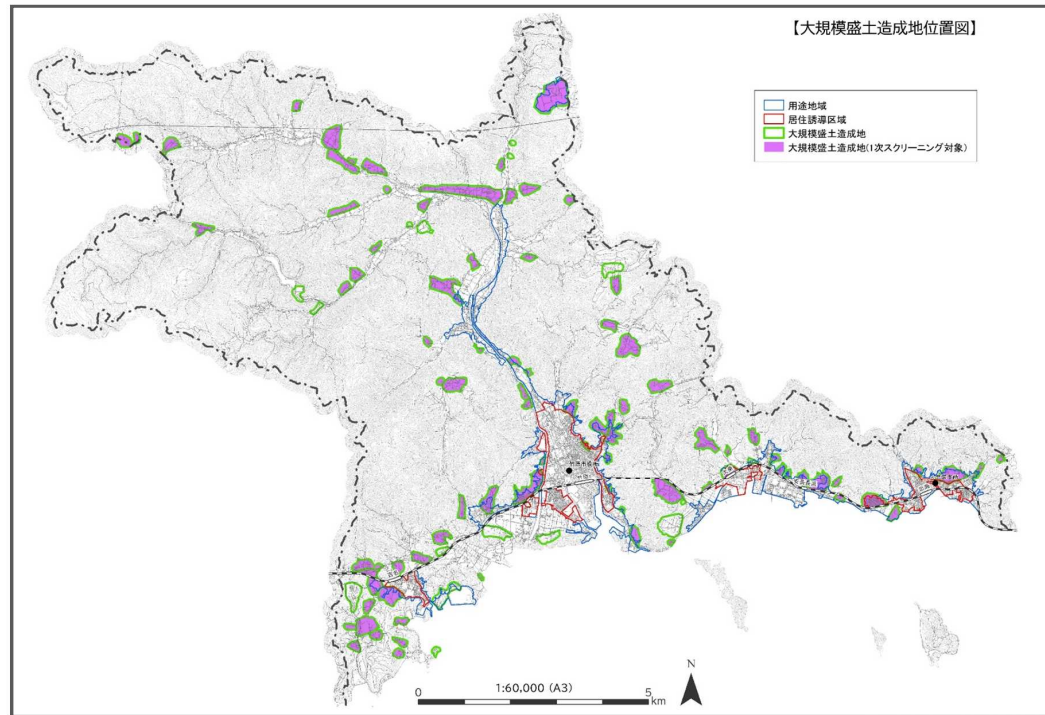
■土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

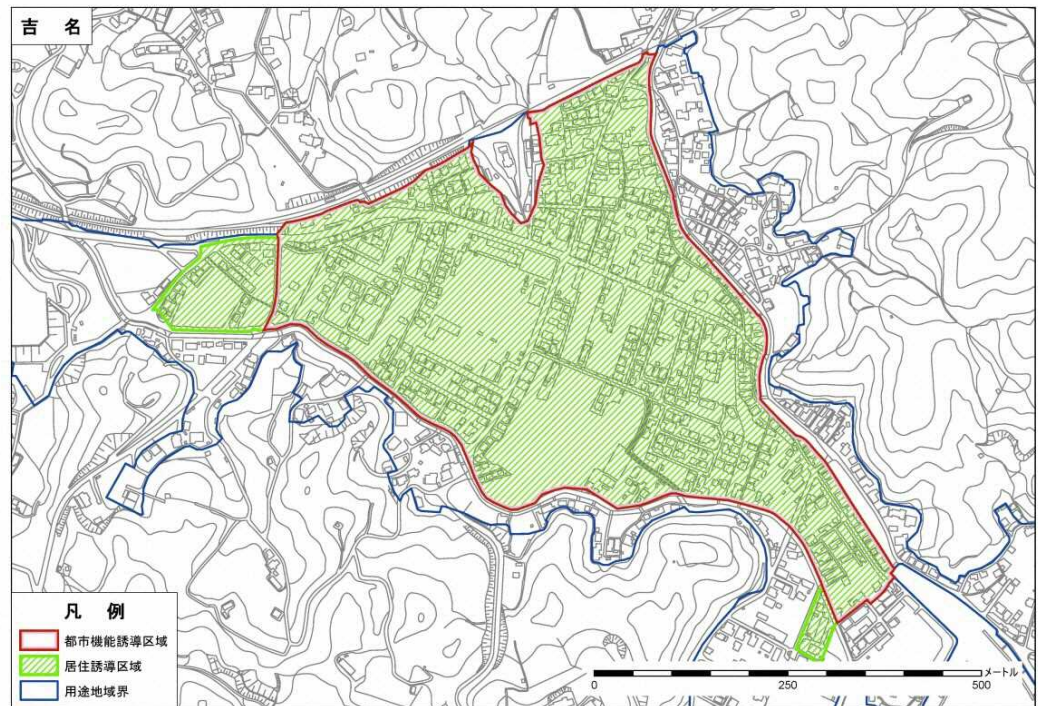
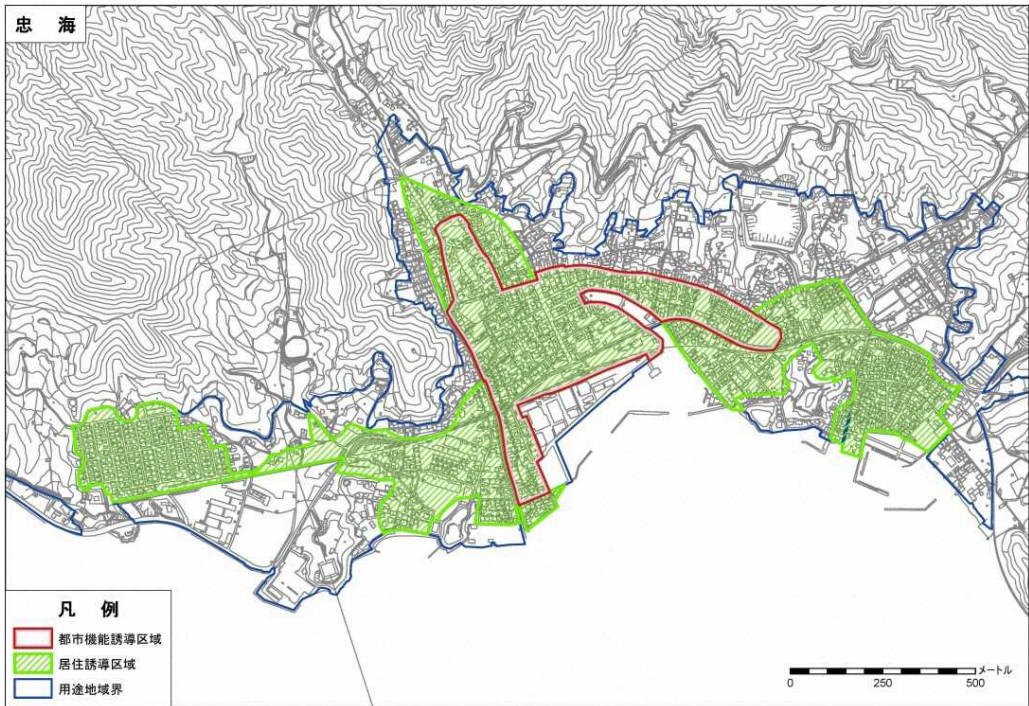
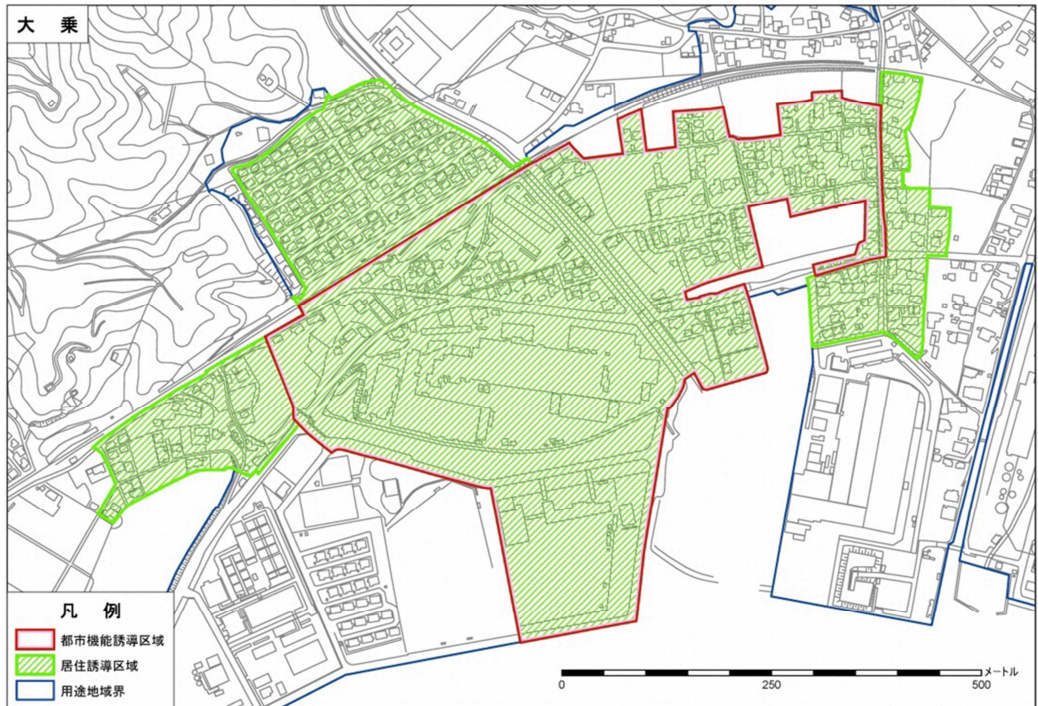
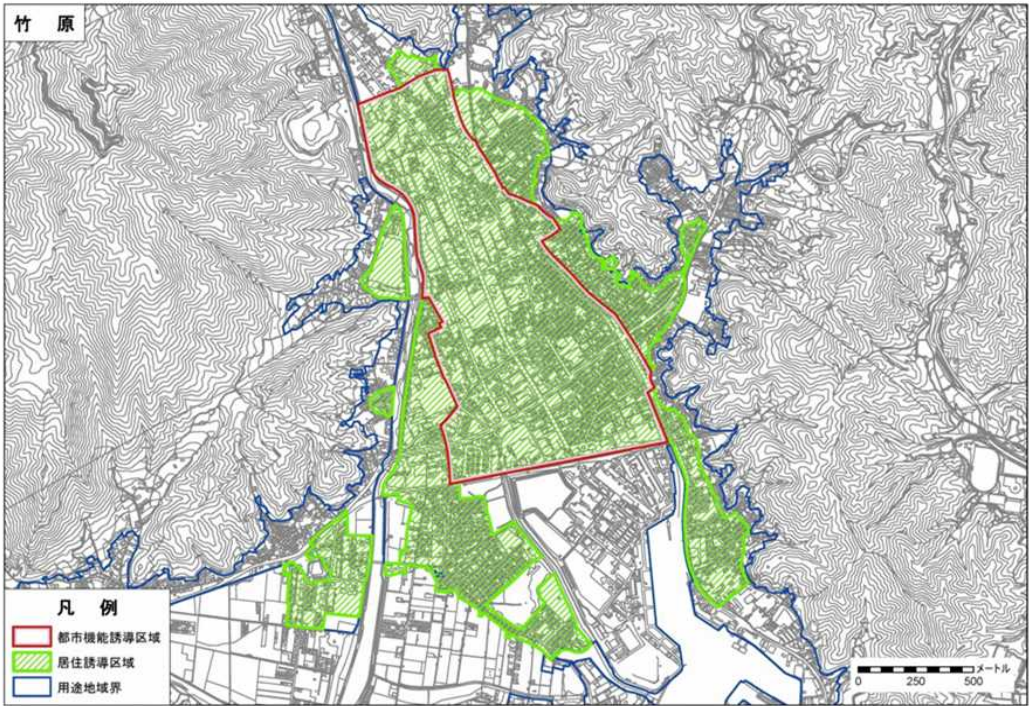


■急傾斜地崩壊危険箇所

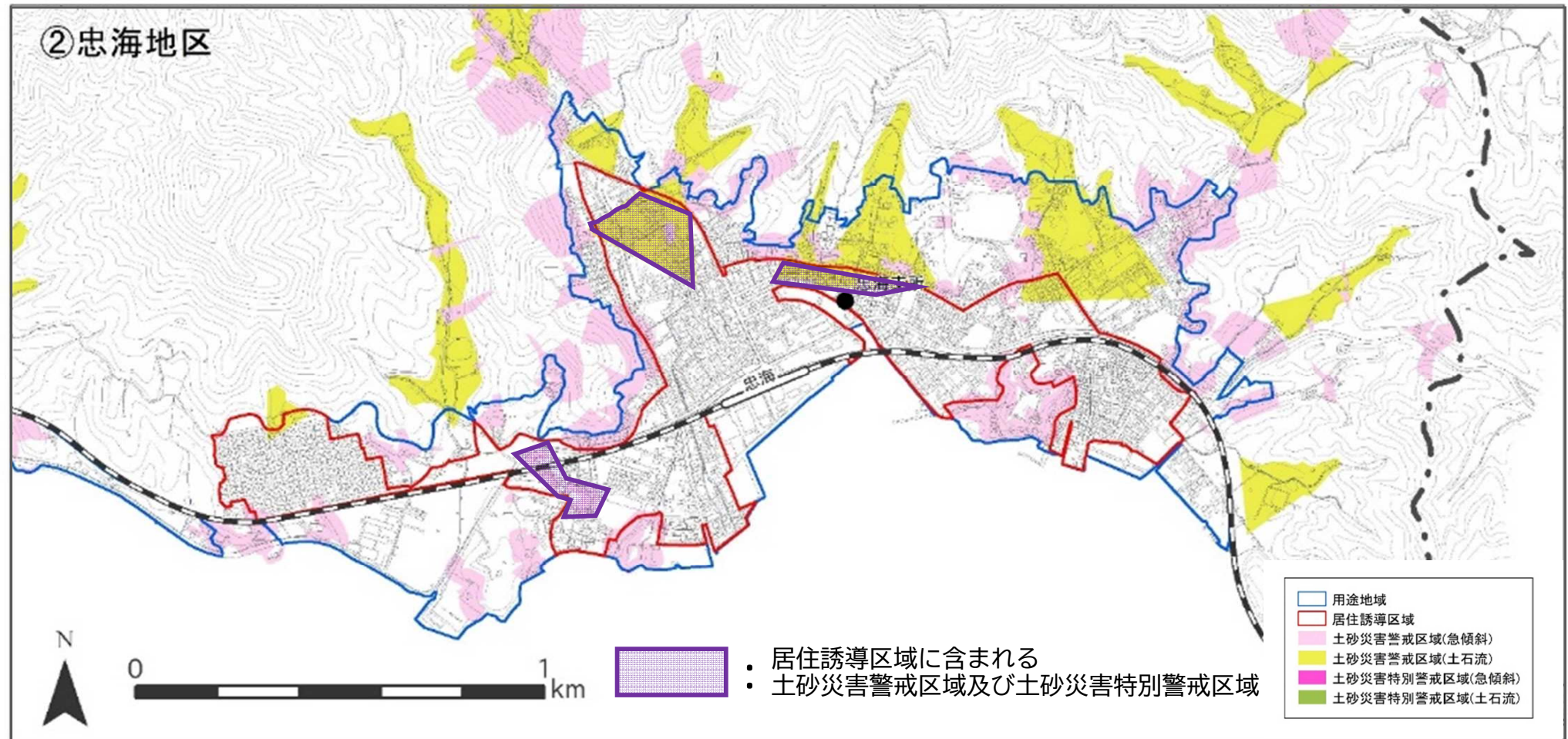


■大規模盛土造成地

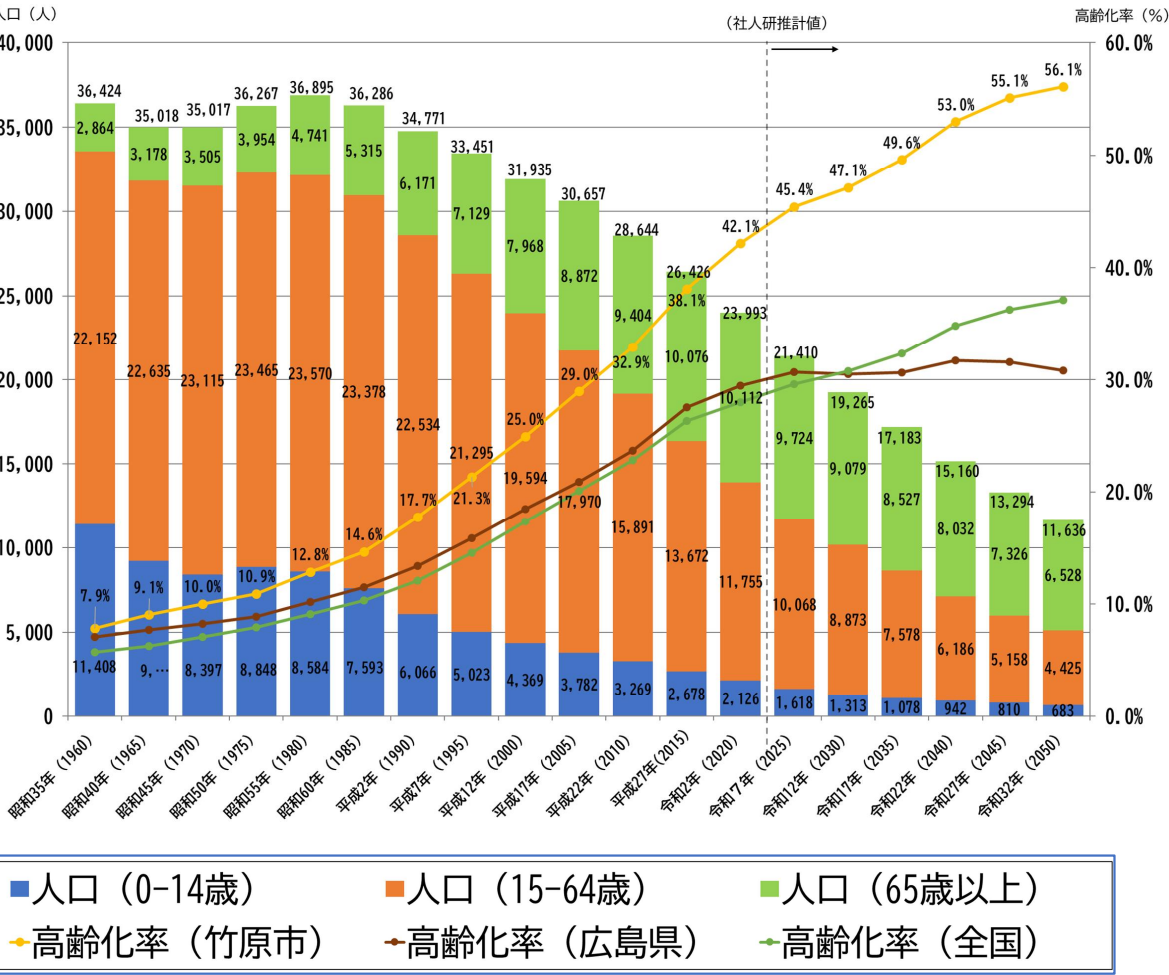




■忠海地区において居住誘導区域の見直しが必要な区域

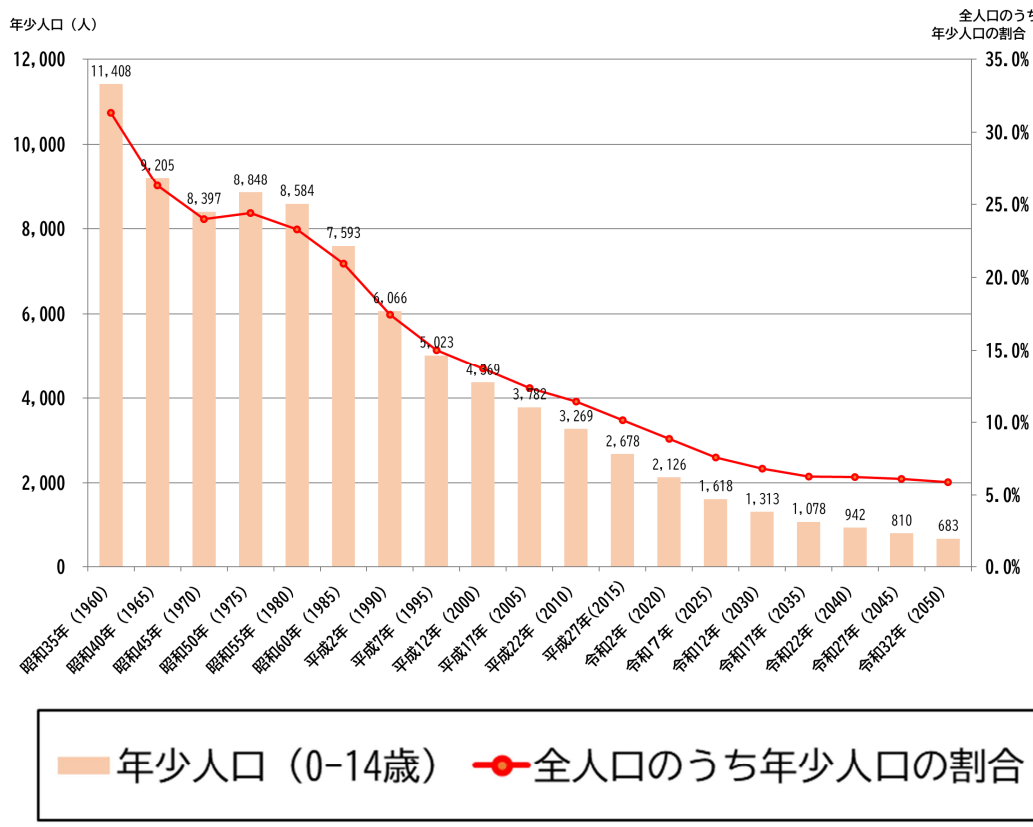


出典) 土砂災害ポータルひろしま



○年齢別人口の推移

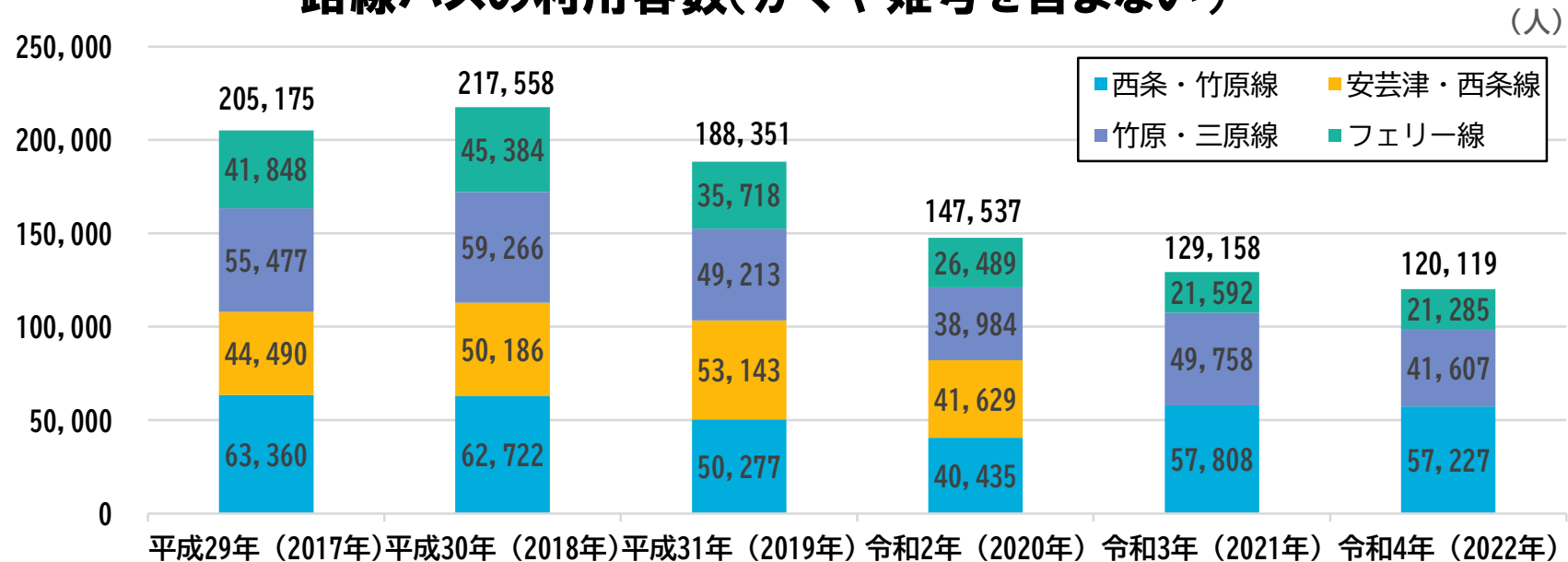
出典) 国勢調査 (R2)
国立社会保障人口問題研究所 (R4)



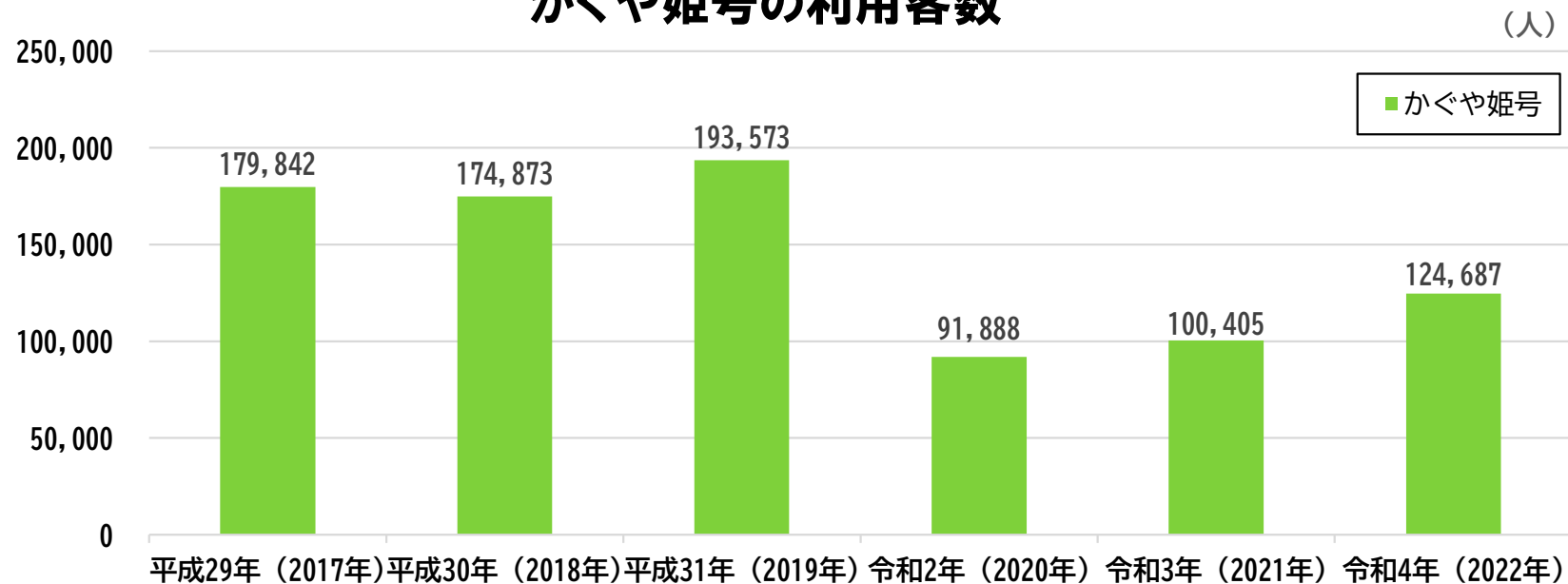
○全人口のうち年少人口の推移

出典) 国勢調査 (R2)
国立社会保障人口問題研究所 (R4)

路線バスの利用客数(かぐや姫号を含まない)



かぐや姫号の利用客数



現在本市では、庁舎移転を契機として、老朽化した公共施設の再配置を進め、市役所等の跡地に魅力ある複合施設（図書館・市民ホール・子育て支援等）を整備するため、中心市街地将来像を描いた竹原市中心市街地まちづくりビジョンと竹原市複合施設整備基本計画を策定している。

■竹原市中心市街地まちづくりビジョン

- 町並み保存地区周辺エリア・JR竹原駅周辺エリア・竹原市役所周辺エリア・新開地区周辺エリアの特色ある4つのエリアで、都市全体のあり方を具体的にデザイン
- コンパクトシティ、ウォーカブルなど継続的な取り組みを進めるとともに、各エリアの回遊性を高めていくことや郊外部から中心市街地へのアクセス性を高めることが重要

■竹原市複合施設整備基本計画

- 竹原市中心市街地まちづくりビジョンで検討した都市デザインを踏まえ、日常的に利用される施設、まちへの波及効果が高い施設、持続的に維持される複合施設としていくことが重要な視点
- 複合施設には図書館・市民ホール・子育て支援などの公共的機能と民間機能も導入する予定としており、各種機能を複合化するメリットを最大限発揮できる施設のレイアウト、居心地の良さを感じる建築デザインが重要

■スケジュール

- まちづくりビジョン検討は、令和5年から令和6年にかけて検討を行う予定である。
- 複合施設整備基本計画は、「機能・施設規模・敷地・デザインコンセプト」を踏まえて令和6年度の完成を予定している。

・市民アンケート

調査目的

『中心市街地』の各エリアについて、【まちづくりの方向性】や【過ごし方のイメージ】を把握するため実施

配布数/回収数

配布数：2,000部/回収数：600部

(郵送：522部、WEB回収：78部) 【回収率30.0%】

その他中学生へのアンケート調査も実施

・市民ワークショップ

第1回 中心市街地の将来像を考えよう！

第2回 中心市街地地区の過ごし方を具体化しよう！

第3回 複合施設のコンセプトを考えよう！



出典）竹原市資料

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年
まちづくりビジョン検討								
複合施設整備基本計画								
複合施設整備								

出典）竹原市資料